

アセフェート水和剤 オルトラン水和剤	取扱メーカー： 北興，アリストLS，一農，琉産 原体メーカー： アリストLS
成分： アセフェート〔有機リン系 PRTR・1種〕……………50.0%	性状： 類白色水和性粉末63 μ m以下 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- オルトラン粒剤の項参照。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 実用的な効力の持続効果は約2週間であるが，散布間隔は害虫の発生量，種類などによって調節する。
- 水溶性内袋入りの製剤を使用する場合は，次の事項に注意する。
 - 内袋は濡れた手で触れない。
 - 外袋の開封後は使いきることが望ましい。
 - 薬液の調製は，所定量の水3分の1程度を入れた後，内袋を開封せずにそのまま容器内に投入する。容器内に水を所定量まで加えた後，よく攪拌する。
- てんさい，ばれいしょ，たまねぎに対して希釈倍数300倍で散布する場合，少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- ボルドー液との混用は使用直前に行う。
- 散布液調製後は速やかに使用する。
- てんさいの育苗期の灌注は薬液が茎葉に残っていると薬害を生じる場合があるので，散水（1m²当り0.5 ℓ ）して除去する。
- カーネーションの品種によっては薬害を生じるおそれがあるので，初めて使用する場合は使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用する。
- 適用作物（さくら，てんさい）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項8．適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 共通注意事項6．街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。
- 共通注意事項7．ミツバチに対する注意事項を参照。
- 無人航空機散布の際は，共通注意事項の2．空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- 桑葉にはかからないように注意（蚕毒）。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	アセフェートを含む 農業の総使用回数	
かき	カキクダアザミウマ チャノキイロアザミウマ カキノヘタムシガ フジコナカイガラムシ	1500 倍	200 ～ 700 ℓ	45 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内	
いちじく	アザミウマ類	2000 倍	100 ～ 300 ℓ	30 日前 まで	1 回		1 回	
キャベツ	ヨトウムシ ハスモンヨトウ タマナギンウワバ	1000 ～ 1500 倍					2 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以内、 定植後の散布は 1 回以内)	
	アオムシ コナガ アブラムシ類	1000 ～ 2000 倍						
	アザミウマ類	1000 倍						
はくさい	カブラハバチ ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1500 倍		1 回				
	アオムシ コナガ アブラムシ類	1500 ～ 2000 倍						
	レタス 非結球レタス	ヨトウムシ			1000 ～ 1500 倍		3 回以内	
アザミウマ類 アブラムシ類 オオタバコガ		1000 倍						
カリフラワー	ヨトウムシ			14 日前 まで	3 回以内		3 回以内	
非結球あぶら な科葉菜類 (ケール,からしな, みずな,ルッコラ, たかなを除く)	アブラムシ類	1500 倍		21 日前 まで				1 回
しょうが	アワノメイガ			1000 倍	45 日前 まで		2 回以内	2 回以内
ごぼう	アブラムシ類						収穫開始 7 日前まで	1 回
オクラ	アブラムシ類 ミドリヨコバイ				30 日前 まで			
ばれいしょ	テントウムシダマシ幼虫 ヨトウムシ						25 ℓ	100 ～ 300 ℓ
	アブラムシ類	300 倍						
	アブラムシ類 ジャガイモガ	1000 ～ 1500 倍						

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	アセフェートを含む 農薬の総使用回数
てんさい	ヨトウムシ テンサイモグリハナバエ トビハムシ類	1000～ 1500倍 1000倍	100～ 300ℓ	45日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗期の灌注 は1回以内、 散布は3回以内)
	ヨトウムシ	16倍	1.6ℓ			無人航空機 による散布	
		300倍	25ℓ			散布	
	トビハムシ類	60～ 100倍	2.5～ 3ℓ/m ²	育苗期	1回	灌注	
未成熟とうもろこし	アブラムシ類	1000倍	100～ 300ℓ	7日前まで	2回以内	散布	2回以内
あずき	アズキノメイガ アブラムシ類 ヨトウムシ			14日前 まで	3回以内		無人航空機 による散布
	だいず			ハスモンヨトウ マメシンクイガ アブラムシ類		60日前 まで	
アブラムシ類				16倍		1.6ℓ	
えだまめ	ハスモンヨトウ アブラムシ類	1000倍	100～ 300ℓ	21日前 まで	5回以内	散布	5回以内
いんげんまめ	アブラムシ類 インゲンマメゾウムシ			14日前 まで			
たまねぎ	ネギアザミウマ	1000～ 1500倍	25ℓ 1.6ℓ	21日前 まで	5回以内	無人航空機 による散布	5回以内
		300倍					
		16倍					
にんにく	ネギコガ アブラムシ類	1000倍	100～ 300ℓ	7日前 まで	2回以内	散布	2回以内
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメコバイ	1000～ 2000倍	200～ 400ℓ	摘採45日 前まで	1回		1回
	チャノコカクモンハマキ	1000～ 1500倍					
さんしょう (果実)	チャノキイロアザミウマ	1500倍	200～ 700ℓ	14日前 まで			
だいおう	ヨトウムシ	1000倍	100～ 300ℓ	生育期 但し、収穫 230日前 まで	3回以内	散布	3回以内
みしまさいこ	アブラムシ類	1500倍 1000倍 1500倍		30日前 まで	5回以内		5回以内
薬用にんじん				180日前 まで	3回以内		3回以内
ソルガム				30日前 まで	1回		1回
もりあざみ				45日前 まで	2回以内		2回以内
やまのいも	ヤマノイモコガ アブラムシ類	1000倍		21日前 まで			
葉しょうが	アワノメイガ						

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	アセフェートを含む 農業の総使用回数	
た ば こ	ヨトウムシ タバコアオムシ アブラムシ類	1500～ 2500倍	25～ 180 ℓ	10日前 まで	2回以内		2回以内	
	ヤサイゾウムシ	1000～ 2000倍	1 ℓ /m ²	苗床期				
	ジャガイモガ若齢幼虫 ジャガイモガ中齢幼虫	1500～ 2000倍	25～ 180 ℓ	10日前 まで				
つつじ類	ツツジグンバイ	1500倍	200～ 700 ℓ	発生初期	5回以内	散布	5回以内	
つばき類	チャドクガ							
さ く ら	モンクロシャチホコ	1000～ 1500倍						
	アメリカシロヒトリ	1500～ 2000倍						
花 き 類 ・ 観葉植物	アザミウマ類 アブラムシ類 アオムシ ヨトウムシ類	1000～ 1500倍	100～ 300 ℓ					
	き く	マメハモグリバエ オオタバコガ						
ス ト ッ ク	コナガ ハイマダラノメイガ							
宿根アスター	ヨメナスジハモグリバエ							
オンシジウム	カイガラムシ類							
カーネーション	コナガ							
ひ ま わ り	タバコガ							
斑入りアマドコロ リアトリス	ハマキムシ類							
樹 木 類		1000倍						200～ 700 ℓ
グラジオラス	アザミウマ類							—
芝	シバツトガ タマナヤガ			0.25～ 2 ℓ /m ²	発生初期	5回以内	散布	
	スジキリヨトウ ケラ			1～2 ℓ /m ²				
	シバオサゾウムシ成虫			2 ℓ /m ²				
	アカフツヅリガ			0.5～ 1 ℓ /m ²				
まめ科牧草	アブラムシ類		100～ 300 ℓ	45日前 まで	3回以内		3回以内	